

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)上尾市大字原市倉庫 新築工	階数	地上2F
建設地	上尾市大字原市	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	20人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,600時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月 予定	評価の実施日	2019年6月25日
敷地面積	6,054㎡	作成者	(株)エネ・グリーン 坪田彩乃
建築面積	2,059㎡	確認日	2019年6月25日
延床面積	2,326㎡	確認者	(株)エネ・グリーン 定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レダ-チャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
音環境: 1.8	機能性: 2.2	生物環境: 3.0
温熱環境: 1.9	耐用性: 2.9	まちなみ: 2.0
光・視環境: 2.7	対応性: 3.3	地域性: 2.5
空気質環境: 3.9		

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物外皮の: 5.0	水資源: 3.4	地球温暖化: 3.7
自然エネ: 3.0	非再生材料の: 2.4	地域環境: 3.5
設備システ: 4.4	汚染物質: 4.0	周辺環境: 3.2
効率的: 2.5		

3 設計上の配慮事項

総合	その他
建物利用者が快適に過ごせるよう努めている。建物の維持管理について一部取り組まれている。敷地内緑化を積極的に行っている。エネルギー消費量を削減している。水資源の保護に努めている。地球温暖化防止に伴う対策を一部行っている。	無し。
Q1 室内環境 事務室の照度750lxを確保しており快適な作業空間を造っている。F☆☆☆☆の建材を使用しており、空気質環境を保てるよう取り組みを行っている。室面積の1/15以上の開口部を確保しており空気質改善が望ましい。	Q2 サービス性能 休憩室を設けリルuggができ快適な空間を提供している。建物の維持管理を積極的に行っている。非常用電源、無停電設備を設置し電気設備の信頼性向上へ努めている。用途変更や設備汎用の変更、支障がない設計となっている。
LR1 エネルギー 外皮の熱負荷制御、設備システムの効率化によりエネルギーの消費量を削減を目指している。	LR2 資源・マテリアル 省水型便器、自動水栓を設置し水資源の保護に一部取り組んでいる。有害物質の含まない材料の使用やノンフロン品の断熱材を使用し地球温暖化防止に努めている。
	Q3 室外環境(敷地内) 中高木が150本以上、緑地面積が1500㎡以上あり積極的に緑化に努めている。
	LR3 敷地外環境 敷地内に燃焼設備がなく大気汚染物質が全く発生しない。公害対策を行っており近隣住民に配慮をしている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
(仮称)上尾市大字原市倉庫 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C
 評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.6	
Q1 室内環境					0.31		-	2.6	
1 音環境				1.8	0.15		-	1.8	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-		
1.2 遮音				1.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能				1.0	0.60		-		
2 界壁遮音性能				1.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-		
1.3 吸音				1.0	0.20		-		
2 温熱環境				1.9	0.35		-	1.9	
2.1 室温制御				1.7	0.50		-		
1 室温				1.0	0.38		-		
2 外皮性能				1.0	0.25		-		
3 ソーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-		
2.3 空調方式				3.0	0.30		-		
3 光・視環境				2.7	0.25		-	2.7	
3.1 昼光利用				1.8	0.30		-		
1 昼光率				1.0	0.60		-		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-		
1 昼光制御				3.0	1.00		-		
3.3 照度		事務室 750lx		4.0	0.15		-		
3.4 照明制御				3.0	0.25		-		
4 空気質環境				3.9	0.25		-	3.9	
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-		
1 化学汚染物質		F		4.0	1.00		-		
4.2 換気				3.6	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.33		-		
2 自然換気性能		室面積の1/15以上開口部あり(開口部:4.08)		5.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-		
4.3 運用管理				4.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-		
2 喫煙の制御		建物内を禁煙とする		5.0	0.50		-		
Q2 サービス性能					0.30		-	2.7	
1 機能性				2.2	0.40		-	2.2	
1.1 機能性・使いやすさ				1.3	0.40		-		
1 広さ・収納性				1.0	0.33		-		
2 高度情報通信設備対応				2.0	0.33		-		
3 バリアフリー計画				1.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性				2.6	0.30		-		
1 広さ感・景観		事務室の1%以上休憩室あり(53.96㎡)		3.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース				4.0	0.33		-		
3 内装計画				1.0	0.33		-		
1.3 維持管理				3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い建材を使用、防錆対策、砂利の侵入を防いでいる、防塵対策		4.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30		-	2.9	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				2.8	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		ビニルクロス 20年程度		5.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20		-		
2.4 信頼性				3.2	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20		-		
3 電気設備		非常用電源装置、自動火災報知機、浸水の危険性なし		4.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.3	0.30		-	3.3
3.1 空間のゆとり			4.4	0.30		-	
1	階高のゆとり	工場用途:8.4m	4.7	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁比率 0.13	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			2.8	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		2.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40		-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI値=0.58	5.0	0.02		-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.66	4.4	0.61		-	4.4
4 効率的運用			2.5	0.25		-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		2.0	0.50		-	
集合住宅の評価			-	-		-	
4.1	モニタリング		-	-		-	
4.2	運用管理体制		-	-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水		省水型便器、自動水栓	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60		-	2.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.0	0.20		-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		防水工事のプライマー	4.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	断熱材は全てノンフロン品	5.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率 82%	3.7	0.33		-	3.7
2 地域環境への配慮			3.5	0.33		-	3.5
2.1 大気汚染防止		燃焼設備なし	5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		1.0	-		-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満たしている。	5.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

使用評価ソフトウェアバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)上尾市大字原市倉庫 新築工事	BEE	1.0	BEEランク
------	--------------------	-----	-----	--------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO ₂ の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.7	+	3.0	=	6.7 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO₂の削減		スコア平均	3.7
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.7
ライフサイクルCO ₂ 排出率82%			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	3.0
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
中高木が150本以上、緑地面積が1500㎡以上あり積極的に緑化に努めている。 夏季の卓越風向に対する建築物の見付け面積を小さくするよう努めている。 風を回復させるよう建築物の高さ形状建築物間の隣棟間隔等を工夫している。 地表面の被覆材に配慮している。			

: 入力欄